

YMFG NEWS RELEASE

2022 年 2 月 4 日

各 位

株式会社 山口フィナンシャルグループ

2022 年 3 月期 第 3 四半期決算について

当社の 2022 年 3 月期 第 3 四半期（2021 年 4 月 1 日から 2021 年 12 月 31 日まで）における四半期決算について、別添のとおりお知らせいたします。

1. 2022 年 3 月期 第 3 四半期決算短信

- ・ 四半期連結貸借対照表
- ・ 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 等

2. 2022 年 3 月期 第 3 四半期決算短信 説明資料

以 上

【本件に関するお問合せ先】

総合企画部 主計室 坂本・浦辺・佐々木

TEL 083-223-5518



2022年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年2月4日

上場会社名 株式会社山口フィナンシャルグループ 上場取引所 東
 コード番号 8418 URL <https://www.ymfg.co.jp>
 代表者 （役職名）代表取締役社長 グループCEO （氏名） 梶梨 敬介
 問合せ先責任者 （役職名） 総合企画部長 （氏名） 坂本 亮一 TEL 083-223-5511
 四半期報告書提出予定日 2022年2月10日 配当支払開始予定日 —
 特定取引勘定設置の有無 有
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2022年3月期第3四半期の連結業績（2021年4月1日～2021年12月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2022年3月期第3四半期	112,717	△6.1	28,583	11.0	20,808	21.1
2021年3月期第3四半期	119,989	△5.6	25,739	△10.7	17,179	△14.1

（注）包括利益 2022年3月期第3四半期 9,096百万円（△72.2％） 2021年3月期第3四半期 32,752百万円（95.1％）

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	84.62	84.59
2021年3月期第3四半期	68.28	68.25

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2022年3月期第3四半期	12,358,668	679,046	5.4
2021年3月期	11,993,722	681,139	5.6

（参考）自己資本 2022年3月期第3四半期 672,443百万円 2021年3月期 674,794百万円

（注）「自己資本比率」は、（期末純資産の部合計－期末新株予約権－期末非支配株主持分）を期末資産の部合計で除して算出しております。

なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	13.00	—	13.00	26.00
2022年3月期	—	14.00	—	—	—
2022年3月期（予想）	—	—	—	14.00	28.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	38,000	2.8	26,000	4.2	106.30

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：有

④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、添付資料P.7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)、(会計上の見積りの変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2022年3月期3Q	264,353,616株	2021年3月期	264,353,616株
------------	--------------	----------	--------------

② 期末自己株式数

2022年3月期3Q	23,677,180株	2021年3月期	17,171,132株
------------	-------------	----------	-------------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2022年3月期3Q	245,905,565株	2021年3月期3Q	251,600,706株
------------	--------------	------------	--------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。
- ・四半期決算補足説明資料は、四半期決算短信に「2022年3月期第3四半期決算短信説明資料」として添付しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 3
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 7
(継続企業の前提に関する注記)	P. 7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 7
(会計方針の変更)	P. 7
(会計上の見積りの変更)	P. 7
3. 2022年3月期第3四半期決算短信説明資料	P. 8～17

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期の連結経営成績につきましては、経常収益は国債等債券売却益及び株式売却益の減少を主因として、前年同期比72億72百万円減少して1,127億17百万円となりました。一方、経常費用は営業経費や与信費用の減少を主因として、前年同期比101億15百万円減少して841億34百万円となりました。

この結果、経常利益は前年同期比28億44百万円増加して285億83百万円となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比36億29百万円増加して208億8百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末における総資産は、前連結会計年度末比3,649億円増加して12兆3,586億円となり、純資産は前連結会計年度末比21億円減少して6,790億円となりました。

主要な勘定の残高につきましては、預金及び譲渡性預金は前連結会計年度末比2,178億円増加して10兆2,293億円、貸出金は前連結会計年度末比1,541億円増加して8兆482億円、有価証券は前連結会計年度末比143億円減少して1兆7,712億円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

2021年5月14日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
資産の部		
現金預け金	1,807,659	2,045,483
コールローン及び買入手形	9,188	36,319
買入金銭債権	4,555	6,102
特定取引資産	1,980	2,064
金銭の信託	35,093	33,683
有価証券	1,785,562	1,771,267
貸出金	7,894,126	8,048,267
外国為替	22,408	34,604
リース債権及びリース投資資産	20,320	19,895
その他資産	285,229	255,703
有形固定資産	88,789	84,468
無形固定資産	9,796	8,789
退職給付に係る資産	59,606	33,274
繰延税金資産	3,253	2,405
支払承諾見返	39,494	46,529
貸倒引当金	△73,344	△70,191
資産の部合計	11,993,722	12,358,668
負債の部		
預金	9,607,290	9,776,087
譲渡性預金	404,284	453,251
コールマネー及び売渡手形	167,152	122,183
債券貸借取引受入担保金	326,414	490,721
特定取引負債	748	835
借入金	638,352	645,775
外国為替	193	199
社債	20,000	20,000
その他負債	89,659	107,206
賞与引当金	2,851	1,746
退職給付に係る負債	2,789	2,697
役員退職慰労引当金	293	287
利息返還損失引当金	43	54
睡眠預金払戻損失引当金	708	561
ポイント引当金	70	78
役員株式給付引当金	434	540
特別法上の引当金	16	16
繰延税金負債	1,498	1,447
再評価に係る繰延税金負債	10,284	9,404
支払承諾	39,494	46,529
負債の部合計	11,312,583	11,679,622

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
純資産の部		
資本金	50,000	50,000
資本剰余金	58,654	58,648
利益剰余金	528,085	543,878
自己株式	△18,649	△22,776
株主資本合計	618,091	629,750
その他有価証券評価差額金	19,477	19,530
繰延ヘッジ損益	1,480	△1,554
土地再評価差額金	23,192	21,190
退職給付に係る調整累計額	12,553	3,527
その他の包括利益累計額合計	56,702	42,693
新株予約権	117	81
非支配株主持分	6,228	6,521
純資産の部合計	681,139	679,046
負債及び純資産の部合計	11,993,722	12,358,668

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位: 百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
経常収益	119,989	112,717
資金運用収益	72,039	70,572
(うち貸出金利息)	52,320	50,587
(うち有価証券利息配当金)	19,101	18,558
役務取引等収益	17,570	20,148
特定取引収益	1,102	1,109
その他業務収益	17,894	15,700
その他経常収益	11,383	5,186
経常費用	94,249	84,134
資金調達費用	7,572	4,150
(うち預金利息)	1,783	1,201
役務取引等費用	6,764	7,222
特定取引費用	—	30
その他業務費用	16,356	18,013
営業経費	50,530	46,078
その他経常費用	13,025	8,637
経常利益	25,739	28,583
特別利益	20	9,230
固定資産処分益	9	135
金融商品取引責任準備金取崩額	10	0
退職給付信託返還益	—	9,094
特別損失	804	4,754
固定資産処分損	90	168
減損損失	180	3,344
退職給付制度改定損	—	1,241
債務保証損失引当金繰入額	534	—
税金等調整前四半期純利益	24,955	33,058
法人税、住民税及び事業税	9,306	6,809
法人税等調整額	△1,572	5,167
法人税等合計	7,734	11,977
四半期純利益	17,221	21,081
非支配株主に帰属する四半期純利益	42	272
親会社株主に帰属する四半期純利益	17,179	20,808

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期純利益	17,221	21,081
その他の包括利益	15,530	△11,984
その他有価証券評価差額金	6,949	76
繰延ヘッジ損益	8,591	△3,034
退職給付に係る調整額	△10	△9,025
四半期包括利益	32,752	9,096
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	32,703	8,801
非支配株主に係る四半期包括利益	49	295

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は2021年11月12日開催の取締役会決議に基づき、当第3四半期連結累計期間において、自己株式6,569千株の取得を行っております。この結果、自己株式が4,189百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が22,776百万円となっております。

（会計方針の変更）

（収益認識に関する会計基準等の適用）

「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過措置に従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。なお、当該適用による四半期連結財務諸表に与える影響額については、軽微であります。

（時価の算定に関する会計基準等の適用）

「時価の算定に関する会計基準」（企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。これに伴い、非上場のデリバティブ取引の時価評価について、自らの信用リスクや相手先の信用リスクを時価に反映するよう見直しをしております。当該見直しにあたって、当社は、時価算定会計基準第20項また書きに定める経過措置に従い、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に反映しております。なお、本対応による四半期連結財務諸表に与える影響額については、軽微であります。

また、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」（企業会計基準第10号 2019年7月4日）第44－2項に定める経過措置に従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。これにより、上場株式の当第3四半期連結会計期間末における四半期連結貸借対照表価額の算定基準を、期末前1カ月の市場価格の平均から、期末日の市場価格に変更いたしました。

（会計上の見積りの変更）

（貸倒引当金の計上基準）

当社グループ内銀行では、事業性評価を通じて、取引先の中長期的な成長に繋がる事業計画等の策定・実行支援を行ってまいりましたが、財務内容が芳しくなく、経営改善計画を策定している要注意先については、その他の要注意先と比べ貸倒実績率等に差が生じており、リスク特性が異なるポートフォリオであることが確認できましたので、予想損失額をより精緻化するための手法及び体制の検討を進めてまいりました。

その結果、当該ポートフォリオに対する予想損失額の精緻化を図るための体制を構築できたことから、当該債務者のうち債権額及び債権額から担保の処分可能見込額及び保証による回収可能見込額を控除した残額が一定額以上の大口債務者のうち、元本の回収及び利息の受取に係るキャッシュ・フローを合理的に見積もることができる債権については、第2四半期連結会計期間より当該キャッシュ・フローを当初の約定利子率で割引いた金額と債権の帳簿価額との差額を貸倒引当金とする方法へ変更しております。

この変更により、貸倒引当金繰入額および貸倒引当金はそれぞれ1,881百万円増加、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ1,881百万円減少しております。

2022年3月期 第3四半期決算短信 説明資料

【 目 次 】

1. 損益の状況		
(1) 山口フィナンシャルグループ【連結】	----	9頁
(2) 3行合算【単体】	----	10頁
(3) 単体		
① 山口銀行	----	11頁
② もみじ銀行	----	12頁
③ 北九州銀行	----	13頁
2. 資産・負債等の状況		
(1) 貸出金の残高	----	14頁
(2) 預金・譲渡性預金の残高	----	15頁
(3) 個人預り資産の残高	----	15頁
(4) 有価証券		
① 残高	----	16頁
② 時価のある有価証券の評価差額	----	16頁
3. 金融再生法ベースのカテゴリーによる開示	----	17頁
4. 自己資本比率	----	17頁

※本資料は単位未満を切り捨てて表示しております。

1. 損益の状況

(1) 山口フィナンシャルグループ【連結】

- ・経常利益は、国債等債券損益や株式等関係損益が減少したものの、役務取引等利益の増加や与信関係費用の減少および金銭の信託運用損益の改善を主因として、前年同期比28億44百万円増加して、285億83百万円となりました。
- ・親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比36億29百万円増加して208億8百万円となりました。
- ・連結コア業務純益は、役務取引等利益の増加や経費の減少を主因として、前年同期比69億32百万円増加して340億10百万円となりました。

(単位：百万円)

	2022年3月期 第3四半期 (9カ月)	前年同期比	2021年3月期 第3四半期 (9カ月)	2022年3月期 通期業績予想 (12カ月)	2021年3月期 (参考) (年間)
連結経常収益	112,717	△ 7,272	119,989		183,255
連結業務粗利益	78,117	196	77,921		95,531
資金利益 (うち投資信託解約損益)	66,425 (10,292)	1,950 (△ 980)	64,475 (11,272)		101,594 (27,473)
役務取引等利益	12,925	2,120	10,805		15,812
特定取引利益	1,078	△ 24	1,102		1,924
その他業務利益 (うち国債等債券損益) (うち金融派生商品損益)	△ 2,312 (△ 4,487) (△ 274)	△ 3,849 (△ 4,977) (608)	1,537 (490) (△ 882)		△ 23,800 (△ 26,566) (△ 1,439)
経費(除く臨時処理分)(△)	48,594	△ 1,758	50,352		67,060
連結業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	29,522	1,954	27,568		28,470
連結コア業務純益 (除く投資信託解約損益)	34,010 (23,717)	6,932 (7,912)	27,078 (15,805)		55,037 (27,564)
一般貸倒引当金繰入額(△) ①	2,973	△ 159	3,132		4,275
連結業務純益	26,549	2,113	24,436		24,195
(金銭の信託運用見合費用)(△)	(3)	(△ 5)	(8)		(8)
臨時損益	2,037	726	1,311		12,778
うち株式等関係損益	1,794	△ 7,576	9,370		18,127
うち金銭の信託運用損益	△ 1,113	2,388	△ 3,501		△ 3,680
うち不良債権処理額(△) ②	1,572	△ 2,980	4,552		5,135
うち貸倒引当金戻入益 ③	-	-	-		-
うち償却債権取立益 ④	3	△ 5	8		9
経常利益	28,583	2,844	25,739	38,000	36,965
特別損益	4,475	5,259	△ 784		△ 170
税金等調整前四半期(当期)純利益	33,058	8,103	24,955		36,795
法人税等合計(△)	11,977	4,243	7,734		11,785
四半期(当期)純利益	21,081	3,860	17,221		25,009
非支配株主に帰属する四半期(当期)純利益	272	230	42		52
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益	20,808	3,629	17,179	26,000	24,957
与信関係費用(①+②-③-④)(△)	4,542	△ 3,134	7,676		9,401

(注) 1. 金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. 連結業務粗利益＝(資金運用収益－資金調達費用)＋(役務取引等収益－役務取引等費用＋信託報酬)
＋(特定取引収益－特定取引費用)＋(その他業務収益－その他業務費用)

3. 連結業務純益(一般貸倒引当金繰入前)＝連結業務粗利益－経費(除く臨時処理分)

4. 連結コア業務純益＝連結業務純益＋一般貸倒引当金繰入額－国債等債券損益

5. 連結業務純益＝連結業務粗利益－経費(除く臨時処理分)－一般貸倒引当金繰入額

6. 法人税等合計＝法人税、住民税及び事業税＋法人税等調整額

(ご参考)

	2022年3月期 第3四半期	前年同期比	2021年3月期 第3四半期	2021年3月期 (参考)
連結子会社数	19	1	18	19
持分法適用会社数	3	1	2	2

(2) 3行合算【単体】

(単位:百万円)

	2022年3月期 第3四半期 (9カ月)	前年同期比	2021年3月期 第3四半期 (9カ月)	2022年3月期 通期業績予想 (12カ月)	2021年3月期 (参考) (年間)
経常収益	96,977	△ 9,153	106,130		163,430
業務粗利益	70,793	△ 1,297	72,090		86,886
資金利益 (うち投資信託解約損益)	66,947 (10,292)	2,006 (△ 980)	64,941 (11,272)		102,229 (27,473)
役務取引等利益	6,930	749	6,181		8,945
特定取引利益	58	△ 33	91		102
その他業務利益 (うち国債等債券損益) (うち金融派生商品損益)	△ 3,142 (△ 4,487) (△ 363)	△ 4,018 (△ 4,977) (429)	876 (490) (△ 792)		△ 24,391 (△ 26,566) (△ 1,036)
経費(除く臨時処理分)(△)	36,684	△ 2,056	38,740		51,289
業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	34,108	759	33,349		35,596
コア業務純益	38,596	5,737	32,859		62,163
(除く投資信託解約損益)	(28,303)	(6,717)	(21,586)		(34,690)
一般貸倒引当金繰入額(△) ①	2,985	△ 116	3,101		4,221
業務純益	31,123	875	30,248		31,375
(金銭の信託運用見合費用)(△)	(3)	(△ 5)	(8)		(8)
臨時損益	2,112	729	1,383		12,929
うち株式等関係損益	1,795	△ 7,402	9,197		17,772
うち金銭の信託運用損益	△ 1,113	2,388	△ 3,501		△ 3,680
うち不良債権処理額(△) ②	1,508	△ 2,747	4,255		4,521
うち貸倒引当金戻入益 ③	-	-	-		-
うち償却債権取立益 ④	3	△ 5	8		9
経常利益	33,232	1,609	31,623	42,600	44,297
特別損益	4,012	4,269	△ 257		△ 1,659
税引前四半期(当期)純利益	37,244	5,878	31,366		42,637
法人税等合計(△)	11,040	3,818	7,222		10,190
四半期(当期)純利益	26,204	2,061	24,143	32,500	32,447
与信関係費用(①+②-③-④)(△)	4,490	△ 2,858	7,348		8,733

(注) 1. 金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. 業務純益(一般貸倒引当金繰入前) = 業務粗利益 - 経費(除く臨時処理分)

3. コア業務純益 = 業務純益 + 一般貸倒引当金繰入額 - 国債等債券損益

4. 一般貸倒引当金及び個別貸倒引当金を合算して、取崩超過となっている場合は、3行合算上はそれぞれの勘定に戻した上で合計しております。

5. 法人税等合計 = 法人税、住民税及び事業税 + 法人税等調整額

(3) 単体

①山口銀行

- ・経常利益は、国債等債券損益や株式等関係損益が減少したものの、与信関係費用の減少や金銭の信託運用損益の改善を主因として、前年同期比30億44百万円増加して242億9百万円となりました。
- ・四半期純利益は、前年同期比12億50百万円増加して171億14百万円となりました。
- ・コア業務純益は、資金利益の増加や経費の減少を主因として、前年同期比30億71百万円増加して241億72百万円となりました。

(単位:百万円)

	2022年3月期 第3四半期 (9カ月)	前年同期比	2021年3月期 第3四半期 (9カ月)	2022年3月期 通期業績予想 (12カ月)	2021年3月期 (参考) (年間)
経常収益	55,765	△ 8,444	64,209		98,295
業務粗利益	41,896	168	41,728		48,944
資金利益	36,987	930	36,057		59,617
(うち投資信託解約損益)	(7,176)	(△ 1,302)	(8,478)		(20,446)
役務取引等利益	4,889	562	4,327		6,172
特定取引利益	58	△ 33	91		102
その他業務利益	△ 38	△ 1,290	1,252		△ 16,948
(うち国債等債券損益)	(△ 761)	(△ 1,908)	(1,147)		(△ 17,357)
(うち金融派生商品損益)	(△ 406)	(536)	(△ 942)		(△ 1,135)
経費(除く臨時処理分)(△)	18,485	△ 994	19,479		25,725
業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	23,410	1,161	22,249		23,219
コア業務純益	24,172	3,071	21,101		40,576
(除く投資信託解約損益)	(16,996)	(4,373)	(12,623)		(20,130)
一般貸倒引当金繰入額(△) ①	993	△ 466	1,459		2,004
業務純益	22,417	1,627	20,790		21,214
(金銭の信託運用見合費用)(△)	(3)	(△ 5)	(8)		(7)
臨時損益	1,795	1,412	383		6,548
うち株式等関係損益	940	△ 4,292	5,232		9,939
うち金銭の信託運用損益	△ 1,267	2,173	△ 3,440		△ 3,640
うち不良債権処理額(△) ②	1	△ 1,323	1,324		1,064
うち貸倒引当金戻入益 ③	-	-	-		-
うち償却債権取立益 ④	3	△ 3	6		7
経常利益	24,209	3,044	21,165	30,000	27,756
特別損益	△ 65	130	△ 195		△ 1,354
税引前四半期(当期)純利益	24,144	3,175	20,969		26,401
法人税等合計(△)	7,030	1,926	5,104		6,561
四半期(当期)純利益	17,114	1,250	15,864	22,500	19,840
与信関係費用(①+②-③-④)(△)	991	△ 1,786	2,777		3,061

(注) 1. 金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. 業務純益(一般貸倒引当金繰入前) = 業務粗利益 - 経費(除く臨時処理分)

3. コア業務純益 = 業務純益 + 一般貸倒引当金繰入額 - 国債等債券損益

4. 法人税等合計 = 法人税、住民税及び事業税 + 法人税等調整額

②もみじ銀行

- ・経常利益は、与信関係費用や経費が減少したものの、国債等債券損益や株式等関係損益の減少を主因として、前年同期比18億3百万円減少して54億99百万円となりました。
- ・四半期純利益は、特別利益の計上を主因として、前年同期比6億37百万円増加して64億66百万円となりました。
- ・コア業務純益は、資金利益の増加や経費の減少を主因として、前年同期比19億8百万円増加して100億97百万円となりました。

(単位:百万円)

	2022年3月期 第3四半期 (9カ月)	前年同期比	2021年3月期 第3四半期 (9カ月)	2022年3月期 通期業績予想 (12カ月)	2021年3月期 (参考) (年間)
経常収益	30,077	△ 573	30,650		47,638
業務粗利益	19,315	△ 2,034	21,349		25,905
資金利益	21,254	803	20,451		31,384
(うち投資信託解約損益)	(3,116)	(322)	(2,794)		(7,026)
役務取引等利益	1,627	19	1,608		2,345
その他業務利益	△ 3,565	△ 2,855	△ 710		△ 7,824
(うち国債等債券損益)	(△ 3,725)	(△ 3,068)	(△ 657)		(△ 9,209)
(うち金融派生商品損益)	(△ 0)	(28)	(△ 28)		(△ 74)
経費(除く臨時処理分)(△)	12,943	△ 874	13,817		18,277
業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	6,371	△ 1,161	7,532		7,627
コア業務純益	10,097	1,908	8,189		16,837
(除く投資信託解約損益)	(6,980)	(1,585)	(5,395)		(9,810)
一般貸倒引当金繰入額(△) ①	1,059	△ 343	1,402		1,849
業務純益	5,311	△ 818	6,129		5,778
(金銭の信託運用見合費用)(△)	(0)	(△ 0)	(0)		(0)
臨時損益	187	△ 986	1,173		3,542
うち株式等関係損益	825	△ 2,408	3,233		4,479
うち金銭の信託運用損益	153	214	△ 61		△ 40
うち不良債権処理額(△) ②	1,102	△ 838	1,940		2,412
うち貸倒引当金戻入益 ③	-	-	-		-
うち償却債権取立益 ④	-	△ 1	1		1
経常利益	5,499	△ 1,803	7,302	7,800	9,320
特別損益	4,212	4,272	△ 60		△ 234
税引前四半期(当期)純利益	9,712	2,470	7,242		9,086
法人税等合計(△)	3,245	1,833	1,412		1,774
四半期(当期)純利益	6,466	637	5,829	6,500	7,312
与信関係費用(①+②-③-④)(△)	2,162	△ 1,179	3,341		4,259

(注) 1. 金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. 業務純益(一般貸倒引当金繰入前) = 業務粗利益 - 経費(除く臨時処理分)

3. コア業務純益 = 業務純益 + 一般貸倒引当金繰入額 - 国債等債券損益

4. 法人税等合計 = 法人税、住民税及び事業税 + 法人税等調整額

③北九州銀行

- ・経常利益は、株式等関係損益が減少したものの、資金利益や役務取引等利益が増加し、経費が減少したことを主因として、前年同期比3億68百万円増加して35億23百万円となりました。
- ・四半期純利益は、前年同期比1億74百万円増加して26億23百万円となりました。
- ・コア業務純益は、資金利益や役務取引等利益の増加および経費の減少を主因として、前年同期比7億58百万円増加して43億26百万円となりました。

(単位:百万円)

	2022年3月期 第3四半期 (9カ月)	前年同期比	2021年3月期 第3四半期 (9カ月)	2022年3月期 通期業績予想 (12カ月)	2021年3月期 (参考) (年間)
経常収益	11,134	△ 135	11,269		17,496
業務粗利益	9,581	569	9,012		12,036
資金利益	8,705	273	8,432		11,226
(うち投資信託解約損益)	(-)	(-)	(-)		(-)
役務取引等利益	414	169	245		427
その他業務利益	461	127	334		381
(うち国債等債券損益)	(-)	(-)	(-)		(-)
(うち金融派生商品損益)	(43)	(△ 136)	(179)		(173)
経費(除く臨時処理分)(△)	5,255	△ 188	5,443		7,286
業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	4,326	758	3,568		4,749
コア業務純益	4,326	758	3,568		4,749
(除く投資信託解約損益)	(4,326)	(758)	(3,568)		(4,749)
一般貸倒引当金繰入額(△) ①	931	692	239		367
業務純益	3,394	66	3,328		4,382
(金銭の信託運用見合費用)(△)	(-)	(-)	(-)		(-)
臨時損益	129	302	△ 173		2,838
うち株式等関係損益	29	△ 703	732		3,353
うち金銭の信託運用損益	-	-	-		-
うち不良債権処理額(△) ②	404	△ 586	990		1,044
うち貸倒引当金戻入益 ③	-	-	-		-
うち償却債権取立益 ④	-	-	-		-
経常利益	3,523	368	3,155	4,800	7,220
特別損益	△ 135	△ 134	△ 1		△ 71
税引前四半期(当期)純利益	3,387	233	3,154		7,149
法人税等合計(△)	764	59	705		1,855
四半期(当期)純利益	2,623	174	2,449	3,500	5,294
与信関係費用(①+②-③-④)(△)	1,336	107	1,229		1,412

(注) 1. 金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. 業務純益(一般貸倒引当金繰入前) = 業務粗利益 - 経費(除く臨時処理分)

3. コア業務純益 = 業務純益 + 一般貸倒引当金繰入額 - 国債等債券損益

4. 法人税等合計 = 法人税、住民税及び事業税 + 法人税等調整額

2. 資産・負債等の状況

(1) 貸出金の残高【単体】

(単位:億円)

		2021年12月末	2020年12月末比	2021年9月期比	2020年12月末	2021年9月期
3行合算	貸出金	81,234	1,722	744	79,512	80,490
	うち個人ローン	13,916	△ 206	△ 25	14,122	13,941
	うち住宅ローン	12,859	△ 124	2	12,983	12,857
	うちその他ローン	1,056	△ 82	△ 27	1,138	1,083
	中小企業等貸出金 (A)	48,059	2,024	874	46,035	47,185
	貸出金残高(国内) (B)	81,008	1,726	739	79,282	80,269
	中小企業等貸出金比率(%) (A) / (B)	59.32	1.26	0.54	58.06	58.78
山口銀行	貸出金	44,609	1,239	365	43,370	44,244
	うち個人ローン	6,202	△ 134	△ 15	6,336	6,217
	うち住宅ローン	5,663	△ 99	△ 3	5,762	5,666
	うちその他ローン	538	△ 35	△ 12	573	550
	中小企業等貸出金 (C)	22,526	1,573	720	20,953	21,806
	貸出金残高(国内) (D)	44,383	1,243	360	43,140	44,023
	中小企業等貸出金比率(%) (C) / (D)	50.75	2.18	1.22	48.57	49.53
もみじ銀行	貸出金	23,863	138	330	23,725	23,533
	うち個人ローン	5,218	△ 62	△ 10	5,280	5,228
	うち住宅ローン	4,977	△ 40	△ 3	5,017	4,980
	うちその他ローン	241	△ 21	△ 7	262	248
	中小企業等貸出金 (E)	15,991	61	79	15,930	15,912
	貸出金残高(国内) (F)	23,863	138	330	23,725	23,533
	中小企業等貸出金比率(%) (E) / (F)	67.01	△ 0.13	△ 0.60	67.14	67.61
北九州銀行	貸出金	12,761	345	49	12,416	12,712
	うち個人ローン	2,495	△ 10	1	2,505	2,494
	うち住宅ローン	2,218	15	8	2,203	2,210
	うちその他ローン	277	△ 25	△ 7	302	284
	中小企業等貸出金 (G)	9,541	390	76	9,151	9,465
	貸出金残高(国内) (H)	12,761	345	49	12,416	12,712
	中小企業等貸出金比率(%) (G) / (H)	74.76	1.06	0.30	73.70	74.46

(注) 「中小企業等貸出金」及び「貸出金残高(国内)」には、海外店分及び特別国際金融取引勘定分は含まれておりません。

（２）預金・譲渡性預金の残高【単体】

(単位:億円)

		2021年12月末	2020年12月末比	2021年9月期比	2020年12月末	2021年9月期
3行合算	預金・譲渡性預金	102,680	2,408	488	100,272	102,192
	預金	98,094	2,241	679	95,853	97,415
	譲渡性預金	4,585	166	△ 191	4,419	4,776
山口銀行	預金・譲渡性預金	57,305	1,317	621	55,988	56,684
	預金	54,105	995	812	53,110	53,293
	譲渡性預金	3,200	323	△ 191	2,877	3,391
もみじ銀行	預金・譲渡性預金	32,799	655	198	32,144	32,601
	預金	32,414	661	198	31,753	32,216
	譲渡性預金	385	△ 6	0	391	385
北九州銀行	預金・譲渡性預金	12,574	435	△ 331	12,139	12,905
	預金	11,574	585	△ 331	10,989	11,905
	譲渡性預金	1,000	△ 149	0	1,149	1,000

（３）個人預り資産の残高【単体】

(単位:億円)

		2021年12月末	2020年12月末比	2021年9月期比	2020年12月末	2021年9月期
3行合算	公共債	56	△ 11	△ 6	67	62
	保険	8,711	244	49	8,467	8,662
	投資信託	672	91	27	581	645
	合計	9,441	325	72	9,116	9,369
山口銀行	公共債	24	△ 7	△ 4	31	28
	保険	3,970	142	29	3,828	3,941
	投資信託	366	54	15	312	351
	合計	4,361	189	40	4,172	4,321
もみじ銀行	公共債	26	△ 4	△ 2	30	28
	保険	4,371	89	18	4,282	4,353
	投資信託	251	25	10	226	241
	合計	4,649	111	27	4,538	4,622
北九州銀行	公共債	5	0	0	5	5
	保険	369	13	2	356	367
	投資信託	54	11	2	43	52
	合計	430	25	6	405	424

(注) 投資信託は時価ベース、公共債は額面ベース、保険(平準払保険を含まない年金保険・終身保険等)は販売額の累計ベースです。

(単位:億円)

		2021年12月末	2020年12月末比	2021年9月期比	2020年12月末	2021年9月期
ワイエム証券	債券	259	△ 191	△ 30	450	289
	株式	667	102	△ 11	565	678
	投資信託	1,336	272	48	1,064	1,288
	その他	224	△ 24	△ 2	248	226
	合計	2,488	159	6	2,329	2,482

(注) ワイエム証券は時価ベースで、その他にはMRF等を含んでおります。

(4) 有価証券【単体】

① 残高

(単位:億円)

		2021年12月末	2020年12月末比		2021年9月末比	2020年12月末	2021年9月末
			2020年12月末比	2021年9月末比			
3行合算	有価証券	17,633	320	△ 136		17,313	17,769
山口銀行	有価証券	11,602	535	△ 15		11,067	11,617
もみじ銀行	有価証券	5,490	△ 263	△ 127		5,753	5,617
北九州銀行	有価証券	540	48	6		492	534

② 時価のある有価証券の評価差額

(単位:億円)

		2021年12月末				2020年12月末		2021年9月末	
		時価	評価差額	2020年12月末比	2021年9月末比	時価	評価差額	時価	評価差額
3行合算	その他有価証券	17,071	272	35	△ 51	16,879	237	17,243	323
	株式	1,190	492	△ 25	△ 52	989	517	1,243	544
	債券	7,976	△ 75	5	△ 0	9,914	△ 80	8,733	△ 75
	その他	7,905	△ 144	55	1	5,976	△ 199	7,267	△ 145
山口銀行	その他有価証券	11,273	168	23	△ 53	10,833	145	11,313	221
	株式	647	304	2	△ 46	645	302	693	350
	債券	4,984	△ 43	△ 1	△ 4	5,709	△ 42	5,437	△ 39
	その他	5,641	△ 92	22	△ 3	4,478	△ 114	5,181	△ 89
もみじ銀行	その他有価証券	5,448	△ 81	35	4	5,710	△ 116	5,574	△ 85
	株式	216	4	△ 6	△ 4	51	10	221	8
	債券	2,967	△ 34	8	4	4,161	△ 42	3,267	△ 38
	その他	2,264	△ 51	33	4	1,498	△ 84	2,085	△ 55
北九州銀行	その他有価証券	350	186	△ 22	△ 1	335	208	356	187
	株式	326	183	△ 21	△ 1	292	204	328	184
	債券	23	2	△ 1	△ 0	43	3	28	2
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-

(注) 1. 「評価差額」は、帳簿価額(償却原価法適用後、減損処理後)と時価との差額を計上しております。

2. 満期保有目的の債券に係る「含み損益」は以下のとおりであります。

(単位:億円)

		2021年12月末				2020年12月末		2021年9月末	
		帳簿価額	含み損益	2020年12月末比	2021年9月末比	帳簿価額	含み損益	帳簿価額	含み損益
3行合算	満期保有目的の債券	369	4	1	0	261	3	343	4
山口銀行	満期保有目的の債券	195	2	0	0	118	2	179	2
もみじ銀行	満期保有目的の債券	-	-	-	-	-	-	-	-
北九州銀行	満期保有目的の債券	174	1	0	△ 0	143	1	163	1

3. 金融再生法ベースのカテゴリーによる開示【単体】

(単位:億円)

		2021年12月末	2020年12月末比	2021年9月期比	2020年12月末	2021年9月期
3行合算	破産更生債権及びこれらに準ずる債権	389	△33	△3	422	392
	危険債権	498	△1	15	499	483
	要管理債権	81	△25	3	106	78
	合 計	969	△60	15	1,029	954
	総与信に占める開示額の割合(%)	1.17	△0.11	-	1.28	1.17
山口銀行	破産更生債権及びこれらに準ずる債権	155	△44	△1	199	156
	危険債権	197	△4	10	201	187
	要管理債権	31	△25	3	56	28
	合 計	384	△73	12	457	372
	総与信に占める開示額の割合(%)	0.85	△0.19	0.02	1.04	0.83
もみじ銀行	破産更生債権及びこれらに準ずる債権	158	6	0	152	158
	危険債権	230	3	△1	227	231
	要管理債権	28	△5	△1	33	29
	合 計	417	4	△3	413	420
	総与信に占める開示額の割合(%)	1.73	0.01	△0.03	1.72	1.76
北九州銀行	破産更生債権及びこれらに準ずる債権	75	5	△2	70	77
	危険債権	71	0	7	71	64
	要管理債権	21	4	1	17	20
	合 計	168	9	6	159	162
	総与信に占める開示額の割合(%)	1.29	0.03	0.04	1.26	1.25

(注)1. 上記の計数は、「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律施行規則」第4条に規定する各債権のカテゴリー(以下、「開示区分」という。)により分類しております。

2020年12月末・2021年12月末の各開示区分の金額は、9月末から12月末までに倒産・不渡り・延滞等の客観的事実並びに信用格付の変動等を反映させた12月末時点における各残高を記載しております。

2. 債務者区分との関係

破産更生債権及びこれらに準ずる債権 … 破綻先、実質破綻先の債権

危険債権 … 破綻懸念先の債権

要管理債権 … 要注意先のうち、元本もしくは利息の支払いが3ヵ月以上延滞しているか、又は貸出条件を緩和している債権

4. 自己資本比率

2021年12月末時点の自己資本比率(当社及び山口銀行:国際統一基準、もみじ銀行及び北九州銀行:国内基準)につきましては、現在算定中であり、確定次第開示いたします。